

第8回吹田貨物ターミナル駅調整会議 議事要旨

1. 日 時：平成29年6月17日（土） 10：00～10：30
2. 場 所：JR貨物 吹田貨物ターミナル駅 3階大会議室
3. 出席者：別紙出席者名簿参照
4. 議事内容

(1) 吹田貨物ターミナル駅および大阪圏4駅の平成28年度貨物取扱量および中継コンテナ取扱量について、JR貨物が資料に基づき説明しました。

- ・ここ数年の傾向として吹田貨物ターミナル駅以外の駅は横ばい、吹田貨物ターミナル駅の取扱量は微増となっています。平成28年度は65万トンであり、協定の遵守事項である年間100万トン以内となっています。
- ・吹田貨物ターミナル駅の平成28年度の中継取扱量は37万トンであり、協定の遵守事項である年間45万トン以内となっています。

(2) 吹田貨物ターミナル駅専用道路の通行台数について、JR貨物が資料に基づき説明しました。

- ・1日の最大通行台数について、3月は867台、4月は926台となりましたが、協定の遵守事項である1日1,000台以内となっています。
- ・3月と4月は引越などのため、一日あたりの台数が、毎年ピークとなります。
- ・毎日、13時から翌日13時までで一日分としており、1,000台を超えないよう、管理しています。

<質疑応答>

Q：ピークは3月と4月なのでしょうか。

A：月あたりの台数は他に多い月もありますが、一日あたりの台数は4月1日をまたぐ約一週間だけ特に多くなります。

Q：通行する台数は、見込み通りなのでしょうか。

A：年度末は多くなりますが、一日1,000台を超えないよう管理しています。

Q：(前回開催から) 駅に関する大きな課題、苦情などは聞いておりません。JR貨物の方では何かありますでしょうか。

A：昨年度の苦情は1件だけでした。匿名でフォークリフトの音に関するものでした。

Q：引き続きよろしくお願いします。

Q：苦情ではありませんが、恐らく新人によるフォークリフトの練習の音がうるさいという話を聞いています。

A：フォークリフト作業の技術向上のため、講習会など開催して支社全体で取り組んでいます。

Q：一時期に比べればかなり静かになったと思います。また、貨物専用道路の出入口付近からのトラックに対する苦情も聞いていません。

A：開業当時は多くにご意見をいただいたことがありますが、それらに速やかに対応すべくこれまでやってきました。引き続き取り組んでまいります。

Q：線路脇（上り貨物本線）の除草をしっかりといただきたい。市にも要請しています。

A：出来る限りの対応を行ってまいります。

以 上